同窓会だより

26 号
令和 5 年 8 月号

発行責任者:白井　鉄男
発行:八幡中学校同窓会

あなたのご家族（兄弟・姉妹・父母・祖父母）に八中の卒業生がいたら見せて下さい。

変わる社会　驚くべき縄文時代　前号で猿が猿人に、そして人類へと進化した歴史をお話しましたが、この人類がまた大きな進化を遂げます。遊動生活から定住生活の始まりです。それはまだ旧石器時代、狩猟・採取・打製石器の時代です。しかし、この打製石器が黒曜石の発見により、薄く・鋭く・硬い石器、つまりナイフや矢じりのような物へと変化することにより、狩猟・採取に大きな変化が生じる。

これを得た人々が「縄文人」となり、縄文時代（紀元前約１５，０００年～約２、４００年）を形成しますが、この間世界的にも類がない「戦が無い」時代が続きます。勿論、旧石器時代もそうでしょうが、人々が集団生活を始めてからこの戦が無い時代が、約１３，０００年ありました。戦の無い徳川時代とて約２５０年（これでも凄いと云われていますが、問題にならない長さですね）です。

北方領土から沖縄まで発見されている縄文遺跡ですが、それより何故こんなに長い間、戦が無かったのでしょうか。まずはこの間、地球は温暖化の時代にあり、生物が生きていくのに都合の良い気象環境にあり、狩猟・漁や採取が適度に行われた（自分たちの生活を守るための物資の調達が容易だった）。彼らは午前中働き、午後は日が沈むまで自由時間（今の労働時間の半分）であった。その自由時間にあの美的・文化的な縄文土器が作られた（飾りを付けた土器は女性が、焼くのは恐らく男性だろう）。

そしてこの時代は、仕事はしても社会的ではなく、文字も貨幣もないが、その日暮らしではある。あまり不安もなく、もめごとも少なく、狩猟や漁にはリーダー的存在はいましたが、取った物は公平分配され、格差や身分差は無かった。このように生活に不平や不満がなく、食べるものはいつでも取れ、水が確保出来る比較的高地（これらの条件を満たすのが標高９００M前後）であった。となると、外敵から身を守り、生活物資の調達が容易（備蓄の必要が無い）で、しかも寒さや暑さをしのぐ（場所や衣類の利用など）ことが出来れば、平和に安定的に生活が出来る。

生活は様々に工夫がなされ、高温多湿な日本では常に住居では火が炊かれ、湿度の低減も図られた。また、後に行われる食物の「栽培」については基本採取であり、これが十分であればとりたて栽培する必要もない。栗の栽培が行われた形跡もあるが、多分取る場所が遠いとか困難な状況があり、栽培した方が楽であったのかも知れない。いずれにしても、栽培も多少していたようではあるが、おそらく家庭菜園程度、すぐに採取出来るものがあれば、栽培期間を待つのは面倒な行為であっただろう。

歴史の本を読むと、縄文人は平和主義でたあったなどと書いてある場合がありますが、この時代に主義や主張はありません。ただ単に今との比較で論じているだけです。また世界の４大文明ですら紀元前３，０００年前後ですから、いかにこの文明が凄いか分かりますね。

因みに、地域で発見されている三ケ日原人や浜北原人は、約２万年前と云われています。（諸説有り）縄文時代を経て弥生時代に入る訳ですが、ここでまた大きな変化が起きます。縄文から弥生に移るきっかけは、渡来人がもたらす「稲作」です。この稲作がその後の人間社会の良くも悪くも原型となる。

上写真：贈呈式での会長挨拶
左写真：アクト地区全世帯及び生徒に配布されたリーフレット

贈　呈　式

７月７日（金）中学校の体育館で、３年生全員が集まり、「驚きの浜松」（小冊子）を学校図書館に１５０冊、「緊急事態対処法」のリーフレットが全校生徒に贈呈する贈呈式が行われた。

「同窓会だより」掲載記事募集

八幡中学校同窓会事務局　　代表　白井　鉄男
連絡先：〒４３０－０９２８
浜松市中区板屋町６１２－４０２
ＦＡＸ：（０５３）４８９－６３９１
ironman29@hotmail.co.jp

「同窓会だより」は、八幡中学ホームページトップの「特色ある活動」から入ると、スマホやパソコンからでも見られます。皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。「同窓会だより」は毎月発行。